

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社cotta
 コード番号 3359 URL <https://www.cotta.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒須 綾希子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 後藤 眞二郎
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福
 TEL 0972-85-0117

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	2,604	△4.1	299	34.2	303	33.4	208	34.5
2022年9月期第1四半期	2,717	—	223	—	227	—	154	—

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 208百万円 (34.5%) 2022年9月期第1四半期 154百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	19.71	19.64
2022年9月期第1四半期	14.63	14.54

(注) 1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第1四半期	6,040	3,519	58.1	332.11
2022年9月期	5,995	3,353	55.8	316.49

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 3,511百万円 2022年9月期 3,345百万円

(注) 1株当たり純資産の算出にあたり、期末自己株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年9月期	—				
2023年9月期(予想)		0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,513	△3.7	620	12.5	641	9.8	421	5.4	39.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1株当たり当期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	11,117,313 株	2022年9月期	11,117,313 株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	545,426 株	2022年9月期	547,726 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	10,570,557 株	2022年9月期1Q	10,584,841 株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、この数字に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)(以下「当四半期」という。)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立を目指し、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が前期(2022年9月期)までに解除された中、景気回復への期待がされておりました。しかしながら、ウクライナ危機の長期化や円安の進行に伴う資源価格の高騰、欧米におけるインフレ加速に伴う政策金利の引き上げ、中国での経済活動抑制の影響等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況のなか、当四半期における当社グループの主要事業である菓子・パン資材および雑貨等の販売事業(以下「資材および雑貨等の販売事業」という。)におきましては、利益を重視した戦略とBtoBを主力とした施策に切り替えたことが功を奏しました。また12月より株式会社大創産業とのコラボレーションでDAISO(ダイソー)の店頭当社監修の製菓材料商品が設置されることになりました。このことは当四半期の好調の一つの要因でもあり、バレンタイン商戦にも弾みがつくものと思われまます。

以上の結果、売上高2,604,844千円(前年同四半期比4.1%減)、営業利益299,406千円(同34.2%増)、経常利益303,213千円(同33.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益208,335千円(同34.5%増)となり、当四半期は第1四半期累計期間において営業利益、経常利益ともに過去最高を記録することができました。

なお、当社グループは、資材および雑貨等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、6,040,840千円となり、前連結会計年度末に比べ45,089千円増加しました。これは、主に、クリスマス向け売上の増加に伴い売上債権が増加したこと、ならびにバレンタイン向けの棚卸資産が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,521,785千円となり、前連結会計年度末に比べ120,750千円減少しました。これは、主に、前期に係る法人税等の納税により未払法人税等が減少したこと、ならびに長期借入の約定返済により一年内返済予定を含む長期借入金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、3,519,054千円となり、前連結会計年度末に比べ165,840千円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月14日に発表いたしました通期連結業績予想についての変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,801,308	1,499,905
受取手形及び売掛金	353,898	504,568
棚卸資産	1,837,761	1,926,341
その他	283,061	340,027
貸倒引当金	△3,960	△4,390
流動資産合計	4,272,070	4,266,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	886,761	875,045
土地	392,744	392,744
その他(純額)	203,236	198,456
有形固定資産合計	1,482,742	1,466,246
無形固定資産	62,432	60,062
投資その他の資産	178,505	248,078
固定資産合計	1,723,681	1,774,387
資産合計	5,995,751	6,040,840
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	646,772	615,517
短期借入金	740,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	146,844	246,844
未払法人税等	137,872	92,726
契約負債	12,885	13,859
賞与引当金	29,361	6,314
その他	327,056	344,273
流動負債合計	2,040,792	2,059,535
固定負債		
長期借入金	551,312	414,601
株式給付引当金	16,454	16,032
退職給付に係る負債	7,605	8,082
その他	26,371	23,534
固定負債合計	601,743	462,250
負債合計	2,642,536	2,521,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	649,472	649,472
資本剰余金	622,640	622,640
利益剰余金	2,335,214	2,500,640
自己株式	△262,148	△261,733
株主資本合計	3,345,179	3,511,019
新株予約権	8,035	8,035
純資産合計	3,353,214	3,519,054
負債純資産合計	5,995,751	6,040,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,717,255	2,604,844
売上原価	1,889,759	1,745,339
売上総利益	827,495	859,505
販売費及び一般管理費	604,366	560,098
営業利益	223,129	299,406
営業外収益		
受取利息	8	2
協賛金収入	4,137	2,984
電力販売収益	2,359	2,137
その他	1,089	2,827
営業外収益合計	7,595	7,952
営業外費用		
支払利息	2,286	2,002
電力販売費用	726	679
為替差損	—	1,463
その他	448	0
営業外費用合計	3,461	4,145
経常利益	227,262	303,213
特別損失		
棚卸資産廃棄損	1,414	—
特別損失合計	1,414	—
税金等調整前四半期純利益	225,847	303,213
法人税、住民税及び事業税	57,489	86,344
法人税等調整額	13,505	8,533
法人税等合計	70,994	94,878
四半期純利益	154,852	208,335
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,852	208,335

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	154,852	208,335
四半期包括利益	154,852	208,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,852	208,335
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、菓子・パン資材および雑貨等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。